

2022年3月版『住宅用建材使用状況調査』の概要

本調査は調査部会が住宅サッシメーカー5社の協力を得て2021年9月に調査を行ったもので、今回で通算46回目となる。

1. 調査対象

2020年8月以降から20201調査時点までに建てられた全国都道府県（沖縄を除く）の居住専用の木造並びにプレハブ住宅を対象とした。「戸建住宅」では有効調査数 3,794票（戸）を集計して 3,000に基準換算し、「共同建住宅」でも 1,115票（棟、約 8,504世帯）を 990に基準換算した上、双方を区分して一冊にとりまとめた。

2. 調査の概要

調査項目は、住宅の「工法」「階数」「床面積」「外壁材料」の特性、及び「窓」「出入口」「エクステリア」に使用されている「製品タイプ・取付率」「材質」「仕上色」等である。項目毎のデータは、全国平均値の他 ①地方別9区分(46都道府県別) ②断熱地域別8区分(令和元年国土交通省告示第783号「建築物エネルギー消費性能基準等を定める省令における算出方法に係わる事項の一部改正」による)を採用している。③工法別3区分について分析した。ただし、プレハブ工法はサンプル数が少ないため、それに関する記述は割愛した。

1) 戸建住宅の主要項目概要

*数値表記：今回%(前回%)

- ① 階数別構成比は、「2階建」が80.1(81.6)と大多数を占める。「平屋建」では全国平均13.2(10.7)に対し九州の35.3(29.5)が、「3階建」では全国平均6.7(7.8)に対し関東の12.6(15.8)、近畿の11.0(12.5)が比較的多く、特徴を示す。
- ② 外壁仕上げは、「窯業サイディング」が76.8(80.4)、さらに「サイディング合計」で89.1(90.9)を占める。「モルタル」は7.6(5.4)となっている。
- ③ 窓のアルミ化率は、全国で75.0(77.6)と減少している。一方、「樹脂製」は25.9(22.3)増加している。
- ④ 窓のタイプ別構成比は、「特殊窓」63.2(60.4)、「引違い窓」35.3(38.1)、「テラスドア」1.5(1.5)となっている。
- ⑤ 特殊窓の内訳は、全国平均で「開きタイプ縦軸」42.3(42.6)、「開きタイプ横軸」32.3(30.6)、「FIX」18.3(17.7)、「上げ下げ」5.7(7.3)、「ルーバー窓」0.5(0.7)となっている。
- ⑥ 2019年度調査より、樹脂サッシを含む窓の外観色とした。全国平均「ライトグレー」42.8(50.3)、「ブラック」29.3(22.1)、「ホワイト」12.9(12.1)、「シルバー」5.9(8.1)、「ダークグレー」4.5(3.0)、「ブロンズ」3.1(2.9)となっている。なお、2019年調査では木目調ラミネートを調査し1.2(0.8)構成比がありました。
- ⑦ 断熱製品の取付率は全国平均で窓数比91.5(90.0)と伸びています。断熱5地域以北は共に90%以上の窓は断熱化されている。
※断熱製品 ⇒ 樹脂製・アルミ樹脂複合製・木製
- ⑧ 複層ガラスの取付率は、全国平均では「戸数比」100.0(99.9)、「窓数比」99.5(98.4)となり戸建住宅で複層ガラスが標準的に使用されている。複層ガラスの構成比を複層ガラス4.7(4.0)、Low-Eガス無52.7(51.4)、Low-Eガス入36.9(38.8)、三層複層ガラス5.2(5.2)と詳細に調査した。
- ⑨ 窓への防犯(CP)ガラス取付率は「戸数比」4.4(3.0)、「窓数比」2.0(1.2)ている。
- ⑩ 玄関ドアのタイプは、「開戸」が全国平均で88.6(87.9)を占め、「引戸」が11.4(12.1)となっている。
- ⑪ 玄関ドア(開戸一般)の色別構成比は、全国平均で「木目調ラミネート」82.9(80.0)、「ブラック」6.1(6.0)「ライトグレー」5.5(8.1)の順となっており、木目調ラミネートが増えている。
- ⑫ 玄関ドア(開戸)の電気錠システムの取付率は「戸数比」52.1(42.9)となっている。
- ⑬ 浴室ドアのタイプ別比率では開戸30.7(27.5)、引戸25.2(28.3)、中折戸44.1(44.1)となっている。
- ⑭ 窓シャッター・雨戸の取付率「戸数比」は全国57.4(61.5)、窓シャッター・雨戸における窓シャッターの比率は97.8(96.8)となっている。窓シャッターの電動化率は22.8(18.5)となっている。

2) 共同建住宅の主要項目概要

- ① 1世帯当りの「平均床面積」は38.2㎡(36.6㎡)となっている。関東では34.1㎡となっている。
- ② 外壁仕上げはサイディング合計で94.7(93.0)を占める。
- ③ 窓のアルミ化率は、全国平均94.4(95.1)となり、内 アルミ樹脂製は60.0(54.2)、樹脂製5.6(4.9)である。
- ④ タイプ別構成比では「引違い窓」が56.6(56.0)を占め、戸建35.3(38.1)に比べ高い。
- ⑤ 平成29年度より、樹脂サッシを含む窓の外観色とした。「ライトグレー」58.0(66.2)、「ブラック」14.9(10.0)、「ホワイト」10.5(9.5)の順となっている。
- ⑥ 断熱製品取付率は、全国平均で窓数比65.6(59.1)となっている。共同住宅においても窓の高断熱化が進んできた。
- ⑦ 複層ガラスの取付率は、全国平均で「棟数比」99.7(99.3)で「窓数比」98.9(98.1)となっている。また、Low-E複層ガラスの取付率は全国平均でLow-Eガス無75.4(69.2)、LOW-Eガス入11.8(17.7)となっている。
- ⑧ 窓シャッター・雨戸の取付率は、「棟数比」では67.0(64.0)と、「戸建」57.4(61.5)を上回っている。一方窓シャッター・雨戸に占める窓シャッター比率も99.6(99.6)である。

以上

(一社)日本サッシ協会 (一社)建築開口部協会 調査部会

※集計表を併せ収録した「住宅用建材使用状況調査」を購入ご希望の方は(一社)日本サッシ協会へ直接申込み下さい。

申込は(一社)日本サッシ協会ホームページ 協会出版物一覧より「出版物購入申込書」記入し、メールもしくは

FAX03-6721-5933にて申し込みください。

頒布価格(税込) 5,500円/部(送料別途)